

## 国際学研究科の履修上の注意

- [1] 授業科目表に掲げる授業科目を履修し、定められた単位数を修得してください。
- [2] 「共通科目」の「国際学研究入門」(2単位)、「ジェンダーとリーダーシップ」(2単位)および「国際学総合研究」(2単位)は、国際学の学問的領域を理解し、研究の方法を身につけるためのもので、必修です。
- [3] 「国際エリア研究」「国際コミュニケーション研究」「国際グローバル研究」「GSE」は、本研究科での教育研究の柱となる科目群であり、そのいずれか1つを選択します。そして、選択した特定の科目群から5科目以上を履修して、10単位以上を修得します。
- [4] 「演習科目」の「国際学演習Ⅰ」(2単位)、「国際学演習Ⅱ」(2単位)、「国際学演習Ⅲ」(2単位)、「国際学演習Ⅳ」(2単位)は、国際学についての研究能力を主体的に身につけるためのもので、すべて必修です。これらの演習はいずれも、学生が研究する学問分野に近い指導教員が担当します。
- [5] 本大学院他研究科および他大学院、「首都大学院コンソーシアム」、その他海外留学先等で修得した単位で、研究科委員会で認められた場合は、修了要件の選択必修16単位に含めることができます。
- [6] 「学位論文」についての要項は、別項に掲げてあります。
- [7] 4月10日前後までに指導教員を決め、その教員と相談の上、当該年度に履修する授業科目を決定し**所定の期日までに履修登録を行ってください。**
- [8] 学部の授業を履修する場合には、指導教員及び授業科目担当教員の許可を受け、**履修登録時に**所定の用紙により教務課に届け出てください。ただし、修了要件単位に含めることはできません。

## インターンシップについて

### <目的・概要>

国際学研究科では、「インターンシップ」が「関連科目」の実習科目2単位としてカリキュラムに組み込まれています。

本科目の目的は、実際の就業体験を通じて、講義等で学んだ知識や技能を職場における実践に適用し、理論と実践を結びつけて理解する能力を養うとともに、企業人としての役割を学び、あるいは組織人として連携や協働を通して、職務を遂行する能力を養うことを目的とします。

### <実施のための手続等>

1. 指導教員と相談のうえ、実施時期・実施先を決定する。  
実施先の企業・団体は、学生支援課の扱っている企業・団体、一般のHP等に掲載されている中から学生自身が探したものであっても、実習条件を満たした適切な企業・団体であれば対象とする。
2. 事前学習・事後学習を含め、指導教員と相談のうえ実習計画をたて、『インターンシップ計画書』を作成し、指導教員を通して国際学研究科委員会に提出する。
3. 学生は、実施先と実施に関して必要な提出書類等の手続を進める。  
(1) 書類には、「履歴書・自己紹介書」「評価書」「契約書・覚書」「誓約書」「実習日誌」「評価表」などがあるが、企業・団体により異なるので確認をすること。(指定書式がない場合は、指導教員に申し出て、本研究科の書式を使用)